

ぬくもりの『和』で つながる地域づくり



第3次速野学区地域福祉活動計画

<平成29~33年度・5九年>

速野学区社会福祉協議会

〒524-0102 守山市水保町2236 速野会館内

TEL 077-585-3953 FAX 077-585-5253

① 第3次速野学区地域福祉活動計画の策定にあたり

速野学区社会福祉協議会では、これまで第1次「もちつもたれつ活動」、第2次「笑顔とふれあう心で育む福祉のまちづくり活動の推進」と学区民の皆様のご支援を受けて、福祉活動を展開してまいりました。

今後、更なる充実を目指して取り組む第3次学区地域福祉活動計画では、地域での人と人との絆の充実を図り、また、誰もが気楽に集う居場所作りの提唱をして「ぬくもりの『和』でつながる地域づくり」の活動に取り組みます。

学区民の方々が、安心・安全に暮らせるまちを目指していきたいと思いますので、ご理解とご支援、ご協力をお願い致します。

速野学区社会福祉協議会会長 今井 寿一

② 基本理念

「ぬくもりの『和』でつながる地域づくり」

速野学区社会福祉協議会では、第2次計画で推進してきた「笑顔とふれあう心で育む福祉のまちづくり活動の推進」を継承・発展し、「ぬくもりの『和』でつながる地域づくり」に取り組みます。

福祉を充実させる基盤はどのように社会が進展しても、人と人とのつながりにあると考えます。

そして、このことが地域に福祉活動が根づいていく不[※]易の部分と捉えています。また、この実現のためには、学区内自治会との連携が不可欠と考えます。

また、地域の中での福祉人材や福祉活動を「宝物」と認識し、これを発見し共有していきます。一人ひとりが福祉活動の主役となり、日常的な対話と交流、学習活動を大切にし、声をかけあい、気にかけてあって、心がかよいあう「福祉のまち速野」の実現に努めます。

※ 変わらないもの

③ 基本目標

計画の基本理念である「ぬくもりの『和』でつながる地域づくり」の実現に向け、5つの基本目標を掲げ、計画を推進します。

1. 活動関係者が気軽に話し合いのできる場づくり
2. 認知症高齢者や障がい児・者などへの理解促進
3. 地域ぐるみでの見守り活動の推進
4. 避難行動要支援者への支援
5. 活動の担い手づくり

④ 具体的な取り組みについて

1. 活動関係者が気軽に話し合いのできる場づくり

活動関係者が集まり、話し合いのできる場づくりをすすめましょう

地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起

- 地域にある資源の中から「宝物」の発見と共有
- 自治会健康福祉関係部門との交流会の開催

2. 認知症高齢者や障がい児・者などへの理解促進

認知症高齢者や障がい児・者など、災害弱者の方への理解を促進し情報伝達の工夫をしましょう

くらしの危機に備える地域福祉活動

- 認知症に関する研修会の充実と理解促進
- 車椅子など福祉用具に関する研修会の開催
- 障がい児・者、高齢者の介助の方法に関する学習会の開催

3. 地域ぐるみでの見守り活動の推進

人と人がつながる地域社会をめざし、地域ぐるみでの見守り活動を推進しましょう

関係者のネットワーク化

- 地域支援ネットワーク委員会（第2層協議体）の充実
- 「向こう三軒両隣」がにつながる関係づくりの推奨
- 認知症・徘徊高齢者の支援の『和』づくり

4. 避難行動要支援者への支援

避難行動要支援者の方への避難支援プランの作成と『福祉避難所』の設置をすすめましょう

- ① 自治会との協調を図っての災害時要支援者への連携強化
- ② 関係団体との組織化（市-学区-自治会）

福祉関係団体との連携強化(市-学区-自治会)等

- 自治会『福祉避難所』の設置の提唱
- 対象者の具体的な避難支援プラン作成の提唱
- 避難行動要支援者を守る『和』づくり

5. 活動の担い手づくり

活動のひろがりや担い手づくりをすすめましょう

生活支援の担い手の養成やサービスの開発

- 若者の出番づくりの推進
- ちょこっとボランティア（生活支援など）の推進
- 高齢者・子育てサロンの継続開催
- カフェ型サロンの開催
- サロンボランティア活動講座の継続開催
- 「おすそわけでつながる速野」の充実
- 地域に隠れている人材の発掘